



## 2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月9日

上場会社名 ナラサキ産業株式会社  
 コード番号 8085 URL <https://www.narasaki.co.jp/>

上場取引所 東札

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 克久

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員 (氏名) 毎原 吉紀

TEL 03-6732-7355

四半期報告書提出予定日 2022年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	20,167	7.1	169	18.6	214	31.4	133	31.1
2022年3月期第1四半期	18,838	2.0	143	52.4	163	47.7	101	76.0

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 188百万円 ( 5.9%) 2022年3月期第1四半期 200百万円 ( 75.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	26.92	
2022年3月期第1四半期	20.69	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	44,340	19,074	42.0
2022年3月期	48,233	19,214	38.9

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 18,614百万円 2022年3月期 18,754百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		65.00	65.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		0.00		65.00	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2022年3月期 期末配当金の内訳 普通配当60円00銭 記念配当5円00銭

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	45,000	4.2	900	3.1	900	0.3	600	0.7	121.36
通期	98,000	3.4	2,500	8.6	2,500	4.2	1,700	8.6	343.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(注) 詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	5,325,600 株	2022年3月期	5,325,600 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	364,818 株	2022年3月期	367,518 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	4,959,949 株	2022年3月期1Q	4,922,279 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2022年5月10日に公表しました業績予想に変更はございません。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大防止への取り組みが進み、ワクチン接種率の上昇に伴い経済活動が徐々に正常化に向かうなど、総じて回復基調で推移しました。その一方、サプライチェーンにおける混乱が続くとともに、外国為替相場の急激な円安方向への変動や資源・エネルギー価格の高騰により物価上昇圧力が高まるなど、依然として景気の先行きは不透明な状況が続きました。

このような状況の中、当社グループは中期経営計画“Dash Forward 2023”の2年目をスタートいたしました。事業環境が劇的に変化する中、「全社員が自らの感性を磨き、変革を進めるとともに、新分野/新事業の創造を図り、企業として成長し続ける」ことをテーマに、中期経営計画に掲げた基本戦略を着実に実行することにより、企業としての質を一段と高めてまいります。また、コンプライアンスの徹底並びにコーポレートガバナンスの充実を引き続き経営の最重要課題と位置付け、すべてのステークホルダーの皆様や社会から信頼される企業グループを築き上げてまいります。

当第1四半期連結累計期間の売上高は201億67百万円（前年同期比7.1%増）、営業利益は1億69百万円（前年同期比18.6%増）、経常利益は2億14百万円（前年同期比31.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億33百万円（前年同期比31.1%増）となりました。

セグメント別の概況は、以下のとおりであります。

#### (電機関連事業)

生産設備分野、建築設備分野において部材不足等による納期の長期化が広範囲にわたる一方、半導体市場における設備投資需要等は旺盛な状況が続いており、FA機器製品、レーザ加工機などの販売が堅調に推移しました。

以上の結果、売上高は54億85百万円（前年同期比9.6%増）、セグメント利益は1億66百万円（前年同期比35.1%増）となりました。

#### (機械関連事業)

農業施設分野、産業機械分野における引合いは増えており、農業施設案件などの受注額は増加しましたが、各分野とも物件の受渡しが少なく収益面は低調に推移しました。

以上の結果、売上高は7億28百万円（前年同期比12.8%減）、セグメント損失1億24百万円（前年同期はセグメント損失1億33百万円）となりました。

#### (建設・エネルギー関連事業)

建材分野では、都市部における外壁工事など建築需要が回復したほか、北海道新幹線工事におけるセメント、骨材の出荷が引き続き堅調に推移しました。建設機械分野では、コンクリート関連機械に対する需要は回復傾向にありますが、長納期化の影響を受けました。エネルギー分野では、原油価格高騰による石油製品の販売価格の上昇・高止まりも影響し、ガソリンの販売数量が前年を下回るなど、厳しい市場環境が続きました。

以上の結果、売上高は98億17百万円（前年同期比6.2%増）、セグメント利益は63百万円（前年同期比14.7%減）となりました。

#### (海運関連事業)

連結子会社のナラサキスタックス(株)において、鋼材や木材の取扱いが増加したことにより、売上は伸長したものの、外注費などの原価が増加し、収益面は低調に推移しました。

以上の結果、売上高は41億37百万円（前年同期比10.1%増）、セグメント利益は62百万円（前年同期比19.6%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は443億40百万円となり、前連結会計年度末に比べて38億92百万円の減少となりました。主な要因は、現金及び預金の減少29億14百万円、受取手形、売掛金及び契約資産の減少19億94百万円、電子記録債権の増加7億73百万円であります。

負債は252億66百万円となり、前連結会計年度末に比べて37億53百万円の減少となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少24億11百万円、電子記録債務の減少10億86百万円であります。

純資産は190億74百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億39百万円の減少となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて3.1ポイント増加し、42.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2022年5月10日の「2022年3月期決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,080	8,166
受取手形、売掛金及び契約資産	16,136	14,141
電子記録債権	3,022	3,795
商品及び製品	1,619	1,598
仕掛品	9	46
原材料及び貯蔵品	44	51
その他	1,977	2,253
貸倒引当金	△5	△4
流動資産合計	33,885	30,049
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,604	4,604
その他(純額)	3,982	3,878
有形固定資産合計	8,586	8,483
無形固定資産		
	174	165
投資その他の資産		
その他	5,594	5,651
貸倒引当金	△8	△9
投資その他の資産合計	5,586	5,642
固定資産合計	14,347	14,291
資産合計	48,233	44,340

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,262	9,850
電子記録債務	8,032	6,946
短期借入金	1,350	1,350
1年内返済予定の長期借入金	236	188
未払法人税等	495	36
賞与引当金	422	98
その他	1,404	2,051
流動負債合計	24,203	20,521
固定負債		
長期借入金	498	460
特別修繕引当金	100	109
退職給付に係る負債	1,260	1,248
その他	2,955	2,925
固定負債合計	4,816	4,744
負債合計	29,019	25,266
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,354	2,354
資本剰余金	1,292	1,292
利益剰余金	14,735	14,542
自己株式	△686	△681
株主資本合計	17,697	17,508
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	898	957
繰延ヘッジ損益	1	4
退職給付に係る調整累計額	157	143
その他の包括利益累計額合計	1,057	1,105
非支配株主持分	459	460
純資産合計	19,214	19,074
負債純資産合計	48,233	44,340

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	18,838	20,167
売上原価	16,816	18,084
売上総利益	2,022	2,083
販売費及び一般管理費	1,879	1,913
営業利益	143	169
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	36	41
持分法による投資利益	—	4
その他	14	21
営業外収益合計	53	69
営業外費用		
支払利息	12	11
持分法による投資損失	1	—
その他	18	12
営業外費用合計	32	24
経常利益	163	214
特別利益		
固定資産売却益	—	1
特別利益合計	—	1
特別損失		
固定資産処分損	0	0
投資有価証券評価損	0	—
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	162	216
法人税、住民税及び事業税	3	3
法人税等調整額	50	71
法人税等合計	54	75
四半期純利益	108	140
非支配株主に帰属する四半期純利益	6	7
親会社株主に帰属する四半期純利益	101	133



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	108	140
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	105	58
繰延ヘッジ損益	△0	3
退職給付に係る調整額	△13	△14
その他の包括利益合計	91	47
四半期包括利益	200	188
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	195	181
非支配株主に係る四半期包括利益	4	7

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	電機 関連事業	機械 関連事業	建設・ エネルギー 関連事業	海運 関連事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高							
顧客との契約から生 じる収益	5,004	835	9,236	3,758	18,835	—	18,835
その他の収益	—	—	3	—	3	—	3
外部顧客への売上高	5,004	835	9,239	3,758	18,838	—	18,838
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	86	5	92	△92	—
計	5,004	835	9,326	3,764	18,930	△92	18,838
セグメント利益又は セグメント損失(△)	123	△133	74	77	142	0	143

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額には、各セグメントに配分していない全社費用△2百万円、セグメント間取引消去額2百万円が含まれております。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	電機 関連事業	機械 関連事業	建設・ エネルギー 関連事業	海運 関連事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
顧客との契約から生 じる収益	5,485	728	9,813	4,137	20,164	—	20,164
その他の収益	—	—	3	—	3	—	3
外部顧客への売上高	5,485	728	9,817	4,137	20,167	—	20,167
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	111	4	116	△116	—
計	5,485	728	9,928	4,142	20,284	△116	20,167
セグメント利益又は セグメント損失(△)	166	△124	63	62	168	0	169

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額には、各セグメントに配分していない全社費用△0百万円、セグメント間取引消去額1百万円が含まれております。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。